

## 取扱説明書

# ポールハンガー PH シリーズ

この度は丸茂電機製品をお買いあげいただき誠にありがとうございます。機材を取り付け・設置・使用される前に、この説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。また、大切に保管していただき、必要に応じてご参照ください。



この製品は舞台・スタジオ用取付機材です



PH17-308A

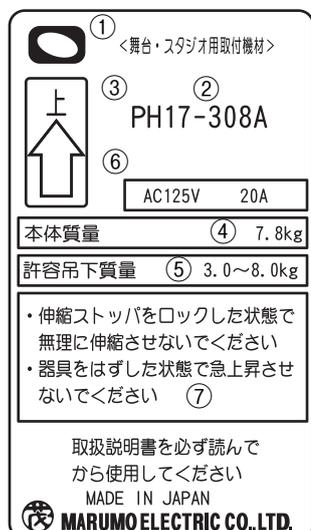


PH17-214

## 定格・仕様

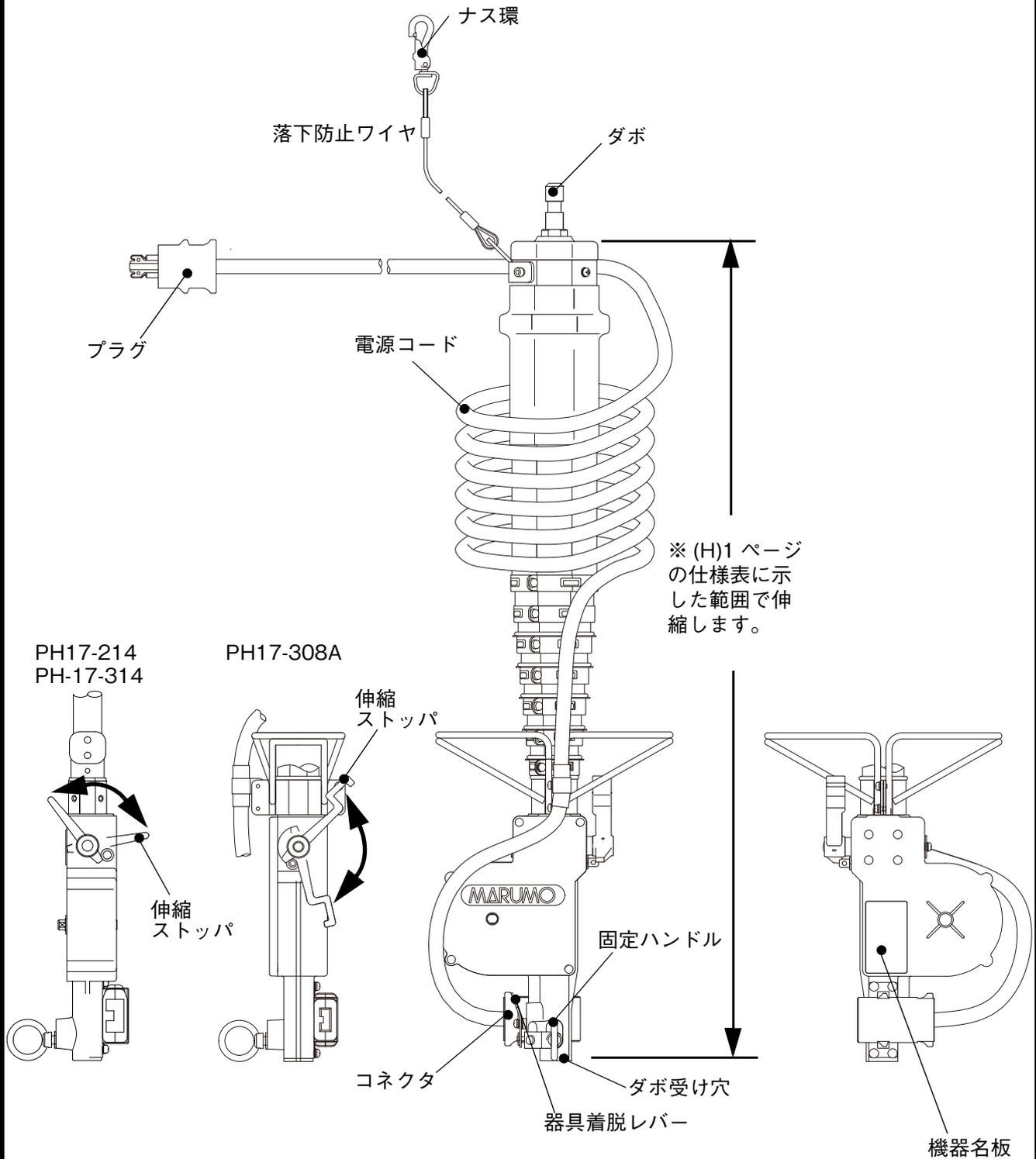
型式名称	PH17-308A	PH17-214	PH17-314
材質	アルミニウム合金		
本体質量	7.8kg	7.0kg	8.5kg
ダボ寸法	φ 17mm		
適合ダボ寸法	φ 17mm		
許容吊下質量	3.0kg ~ 8.0kg	7.0kg ~ 14.0kg	7.0kg ~ 14.0kg
伸縮範囲	780mm ~ 2890mm	800mm ~ 2080mm	1000mm ~ 3070mm
定格電圧	AC125V		
定格電流	20A	30A	
プラグ	C 型 20A(C-20P)	C 型 30A(C-30P)	
コネクタ	C 型 20A(C-20B)	C 型 30A(C-30B)	
電源コード	2PNCT 3.5mm <sup>2</sup> 2C + 2mm <sup>2</sup> 1C	2PNCT 5.5mm <sup>2</sup> 2C + 2mm <sup>2</sup> 1C	
表面仕上	黒塗装		

## 機器名板の解説



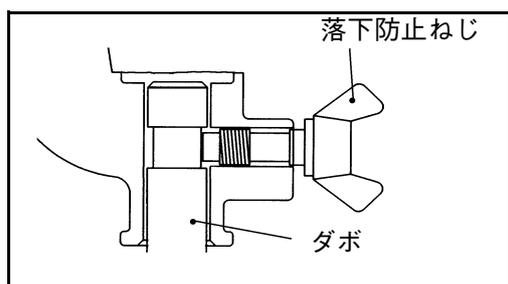
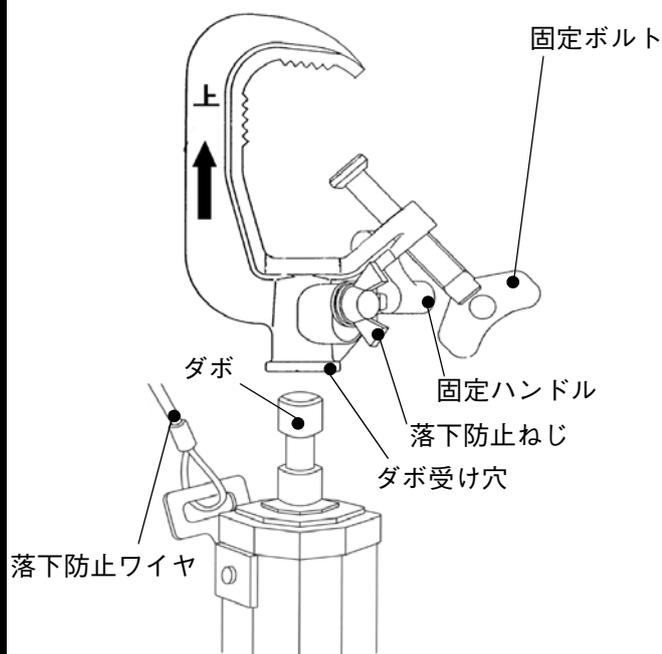
- ① 舞台・スタジオ用取付機材を表すマークです。
- ② 型式名称：機材の型式名称を表示しています。
- ③ 上部方向：矢印が上を向く方向が機材の上部方向です。
- ④ 本体質量：取付機材本体の質量を表示しています。
- ⑤ 許容吊下質量：吊下質量の許容範囲を表示しています。
- ⑥ 定格電圧・電流：機材に接続できる照明器具の定格電圧と定格電流を表示しています。
- ⑦ 注意書：使用時に特に注意すべき項目を表示しています。

# 各部の名称



※ポールハンガーの取り扱いには十分注意し、倒す、落とすなどの衝撃は加えないでください。重大な故障の原因となります。

## 使用方法 -1



- ハンガーによるパイプへの取り付け  
HAS3 タイプハンガーの取り付け例です。その他のハンガーをご使用になる場合にはそれぞれのハンガーの資料を参照してください。
1. ダボが入るようにハンガーの固定ハンドルと落下防止ねじを緩めてください。また、パイプにセットできるように固定ボルトを緩めてください。
  2. ポールハンガーのダボをハンガーのダボ受け穴に最後まで確実に差しこんでください。
  3. ハンガーの落下防止ねじを確実に締め付けてください。ハンガーが外れないことを確認した後、固定ハンドルを締め付けてください。
  4. パイプにハンガーを掛け、固定ボルトでしっかりと固定してください。
  5. 落下防止ワイヤをパイプに回し、ナス環をワイヤの取付金具に確実に取り付けてください。
  6. プラグを差し込んでください。

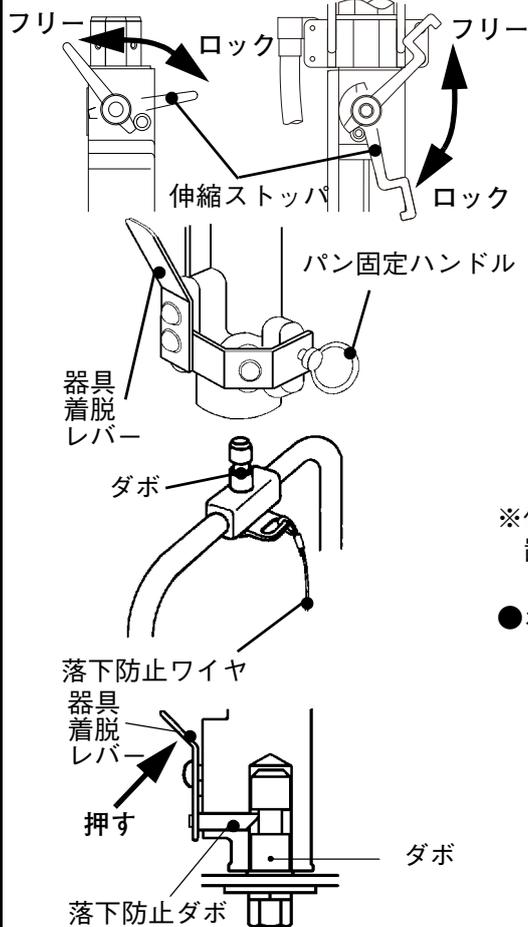


落下防止ワイヤは、取扱説明書の点検項目に従って異常のある場合は交換してください。  
また、一度でも落下防止としてショックが加わったものは、外見が正常であっても新しいものと交換してください。

## 使用方法 -2

PH17-214  
PH17-314

PH17-308A



### ●器具をポールハンガーに取り付ける

1. 操作棒などをパン固定ハンドルに引っ掛けて、器具が取り付けられる高さまでゆっくりと下げ、伸縮ストッパをしっかりとロックしてください。
2. 器具のダボが入るよう、ポールハンガーのパン固定ハンドルを緩めてください。
3. 器具のダボをダボ受け穴に最後まで確実に差込み、器具が外れないことを確認したら、パン固定ハンドルを締めてください。
4. 器具の落下防止ワイヤをパン固定ハンドルに通し、ナス環を器具の落下防止ワイヤ取付金具に確実に取り付けてください。もしナス環がパン固定ハンドルを通らない場合は、ナス環をパン固定ハンドルに確実に取り付けてください。
5. 器具のプラグをポールハンガーのコネクタに差してください。
6. 伸縮ストッパをフリーにしてください。

※伸縮ストッパーの位置は、型式によってフリーとロックの位置が異なりますので、ご注意ください

### ●ポールハンガーから器具をはずす

1. 操作棒などで器具がはずせる高さまでゆっくりと下げ、伸縮ストッパをロックしてください。
2. プラグを抜き、器具の落下防止ワイヤをはずしてください。
3. 器具をしっかりと持ち、パン固定ハンドルを緩めてください。
4. 器具着脱レバーを押すと、落下防止ダボが解除され、器具がはずれます。



取り付ける器具は許容吊下質量は必ず守ってください。故障の原因となります。

取り付ける器具の定格容量は必ず守ってください。故障の原因となります。

一度でも落下防止としてショックが加わった落下防止ワイヤは、外見が正常であっても新しいものと交換してください。

### ●ポールハンガーの伸縮方法

器具が取り付けられているときは、操作棒などで高さの調整をしてください。伸縮範囲内において任意の高さで停止します。高さが決まったら伸縮ストッパをロックしてください。



高さ調整の際、操作棒をケーブルに引っ掛けないでください。ケーブル損傷の原因になります。

器具が取り付けられていないときには、ポールハンガーは強い力で上昇しようとします。ポールハンガーに器具を取り付ける、または外す場合は、伸縮ストッパを確実にロックした状態で行ってください。

器具が取り付けられていない状態で上昇させる場合は、操作棒などをパン固定ハンドルにひっかけ、下へ引っ張った状態で伸縮ストッパをフリーにし、少しずつ力を緩めながらゆっくり上昇させてください。



伸縮ストッパをロックした状態で、無理に伸縮させないでください。故障の原因となります。

急上昇させないでください。けがや故障の原因になります。

## 安全にご使用いただくために

	<b>警告</b>	警告：取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または負傷を負う可能性が想定される場合や、軽傷または物的損害の発生する頻度が高い場合に用いています。
		●このポールハンガーは演出空間用の照明機材です。舞台・スタジオなどの演出空間の用途以外には使用しないでください。一般用照明機材として使用する製品ではありません。
		●照明器具、照明機材の質量に見合ったポールハンガーを使用してください。ポールハンガーの選定を間違えると落下し、物的損害やけがの原因となります。
		●分解したり改造したりしないでください。落下・故障の原因となります。

	<b>注意</b>	注意：取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う可能性が想定される場合や、物的損害のみの発生する頻度が高い場合に用いています。
---	-----------	--

<p>屋内用の製品です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●このポールハンガーは屋内用の製品です。屋外で使用しないでください。屋外で使用すると、さびなどによる機能劣化の原因となります。</li> </ul> <p>取扱説明書をお読みください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ポールハンガー取り付け・設置・使用前に必ず取扱説明書または注意書を良くお読みください。また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用してください。</li> </ul> <p>取り扱いは専門家が行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ポールハンガー取り付け・設置・取り扱い・使用前の準備・点検・整備の作業は「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。未熟練者だけの対応は事故をまねくおそれがあります。</li> </ul> <p>取り付け・設置時の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ポールハンガー取り付けには方向性があります。本体表示に従って正しく取り付けてください。指定以外の取り付けを行うと、器具・機材本体の破損や火災・けがの原因になります。</li> </ul> <p>使用時の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ポールハンガーのねじ類は、振動で揺るむ場合があります。取扱説明書に基づき確実に処置をしてください。</li> </ul>	<p>保管について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●埃の多い場所や湿度が高い場所での保管は避けてください。さびなどによる機能劣化の原因となります。</li> <li>●再使用するときは点検を行ってから使用してください。故障の原因となるおそれがあります。</li> </ul> <p>保守点検について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●交換部品は、当社指定の純正部品を使用し、取扱説明書に基づき確実に処置をしてください。指定外の取り扱いは機材の機能劣化をまねくおそれがあります。</li> <li>●地震などの天災の後は、使用前に「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が必ず点検を行ってください。未熟練者だけの対応は事故をまねくおそれがあります。</li> </ul> <p>点検と修理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ポールハンガー本体および部品の寿命は、使用頻度、設置環境、取扱状態、保管管理状態によって異なります。性能及び安全性の確保のため、正しい維持管理を行ってください。また日常点検を実施し、点検の結果に従ってそれぞれの処置をとってください。</li> <li>●補修用部品の最低保有期間は8年です。</li> </ul>
--	--

## ポールハンガーの日常点検項目、および処置

分類	点検項目	日常点検		メーカー修理依頼
		増締め	交換	
本体	本体各部に異常変形や損傷はないか。			○
	伸縮ストップ・パン固定ハンドルは確実に固定できるか。			○
	ねじに緩みはないか。	○		
落下防止ワイヤ	本体取付金具、ナス環などの金具類に変形や腐食（さび）はないか。			○*1
	ワイヤにほつれ、伸び、キンク、さびなどの異常はないか。			○*1
電源コード	変色、亀裂、変形はないか			○
プラグコネクタ	変形、変色、損傷がなく、相互の接続に異常はないか。		○	
	端子ねじは緩んでないか。	○		

\*1 落下防止ワイヤ及びその周辺金具に変形などの異常が生じた場合には、ワイヤ及び金具の一式交換が必要です。



●本社・営業部	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-24	TEL.(03)3252-0321
●大阪営業所	〒530-0047 大阪市北区西天満 4-11-23(満電ビル)	TEL.(06)6312-1913
●名古屋営業所	〒460-0008 名古屋市中区栄 4-1-1(中日ビル)	TEL.(052)263-7425
●福岡営業所	〒810-0041 福岡市中央区大名 1-14-45(Q'iz TENJIN)	TEL.(092)741-4762
●広島営業所	〒730-0022 広島市中区銀山町 1-11(フジスカイビル)	TEL.(082)249-6400
●札幌営業所	〒060-0061 札幌市中央区南一条西 7-12(都市ビル)	TEL.(011)261-0321
●仙台営業所	〒980-0802 仙台市青葉区二日町 3-10(グラン・チャリオビル)	TEL.(022)263-0221